

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2012 助成の概要と推薦理由

助成番号 12-1-4

プロジェクト名 あそびかた研究会～長期入院・在宅療養している
子ども達ときょうだいとのあそびかたを学ぶ～
団体名 一般社団法人こどものホスピスプロジェクト
代表者名 高場 秀樹
所在地 大阪府
助成額 242万円
助成期間 2012年12月1日～2013年11月30日
設立年 2010年
U R L <http://www.childrenshospice.jp>



子どものホスピスは、病気を持つ子ども達とその家族に、遊びや癒し、休息を提供する活動で、日本ではまだ始まったばかりであり、ボランティアを含めた関係者の育成が必要とされている。

この団体は、子どものホスピスの活動を日本で普及させるために設立され、まずはソフト部分から活動を開始しており、プレイワーカー、音楽療法士、看護師らが家庭で遊びの時間を届ける「訪問支援活動」、広いスペースで楽しい時間を過ごす「わくわくタイム」「わくわくプレスクール」、病状に合わせた「教育支援活動」、家族旅行をサポートする「小旅行支援活動」などに取り組んでいる。

今回の助成では、重い病状を持ちながら長期入院や在宅療養する子ども達とそのきょうだいとの遊びについて、基礎的な知識や技術を持った人材の育成を行う。具体的には連続した「あそび講座」の開催を通じて、活動に関わるボランティアや保育士、看護師、医師などの知識や経験を共有し互いに学ぶことで、関係者の基礎力を高めることを目指す。

近年、病院内における「遊び」は、ボランティア・グループやアーティストの協力などにより徐々に広がりを見せているが、長期療養を自宅で行う子ども達への支援はこれからである。合わせて、在宅療養への社会的支援の必要性の認識が高まることも期待して助成する。